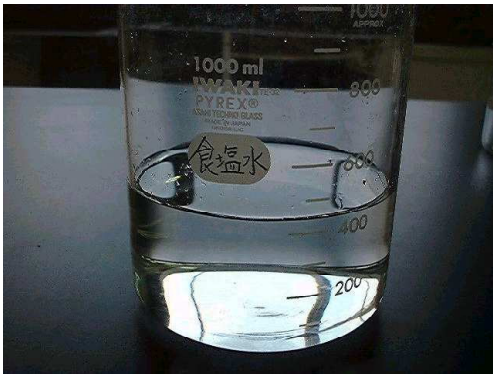


ビーカーの使い方と注意点



容量は50mlから100ml、200ml、300ml、500ml、1000mlなどがあります。

しかし、目盛りはあまり正確ではないので、正確に量るときは、メスシリンダーを用いるようにします。



○側面にすりガラスの部分があります。一時的に名前を書くときは、この部分を使うか(鉛筆で書く)、ビールテープなどで名札をつけます。

○火を使って加熱する場合は、金網や三角架を使い、急に温度が上がるのを避けるようにします。

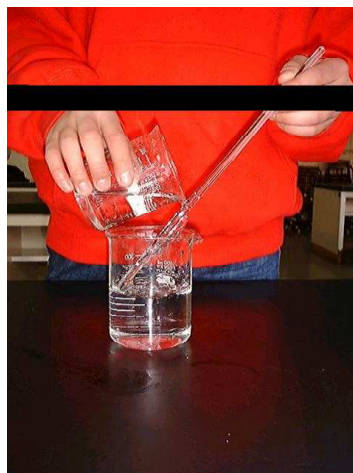
※ガラス棒などは入れっぱなしにせず、外がわの水できもよくふきとりましょう。

○こわれる原因は、急に熱くする、急にひやす、ぶつけるなどによる場合、また、水溶液を作るときなどかき混ぜるときに多いです。

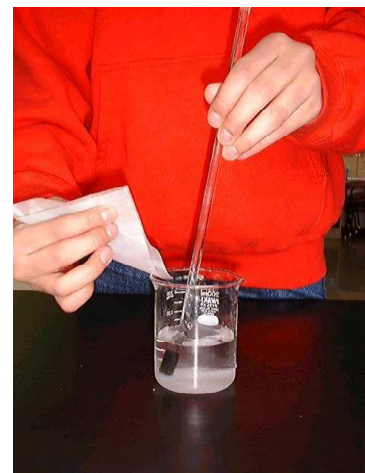
○かくはん棒にガラス棒を使うときは、先にゴム管を取り付け、かくはん棒がビーカーに、ぶつからないよう注意してまぜます。



加熱する



液体をつぎ足す



食塩を入れて
かくはんする